

技術検討ワーキング・グループ（第4回）～（第9回）議事要旨

原子力委員会 原子力防護専門部会

技術検討ワーキング・グループ（第4回）議事要旨

1. 日 時：平成23年11月18日（金） 15：00～17：00

2. 場 所：中央合同庁舎4号館12階 共用第1202会議室

3. 出席者：

委員：内藤座長、飯田委員、板橋委員、岩橋委員、宇根崎委員、
櫻井委員

原子力委員：近藤委員長、秋庭委員

事務局：吉野企画官他

4. 議題

①IAEA 勧告文書 INFCIRC/225/REV.5 の検討

5. 議事概要

①IAEA 勧告文書 INFCIRC/225/REV.5 の検討

○IAEA 勧告文書が INFCIRC/225 が REV.4 から REV.5 へ改正されたこと受け、今後我が国の核セキュリティへの対応方針を検討する上で注目すべきポイントを説明の後、審議が行われた。主な意見の概要は以下のとおり。

- ・核セキュリティにおける信頼性確認については、まさに核物質があり、それに係る情報についての問題や、そこにアクセスできる人間を具体的に想定し得る話であり、対処すべきもの。
- ・電力会社は特許企業であり、広い意味で行政サービスの一旦を担っている。治安当局への協力は当然の義務に入ってくる。

以 上

原子力委員会 原子力防護専門部会

技術検討ワーキング・グループ（第5回）議事要旨

1. 日 時：平成23年12月05日（月） 15：00～17：00

2. 場 所：中央合同庁舎4号館2階 共用第3特別会議室

3. 出席者：

委員：内藤座長、飯田委員、板橋委員、岩橋委員、交告委員、

櫻井委員

原子力委員：近藤委員長、鈴木委員長代理、秋庭委員

事務局：吉野企画官他

4. 議題

①IAEA 勧告文書 INFCIRC/225/REV.5 の検討

5. 議事概要

①IAEA 勧告文書 INFCIRC/225/REV.5 の各論について、説明、審議が行われた。主な意見の概要は以下のとおり。

- ・一般的にプライバシーは保護する方向に向かうべきものと考えるが、原子力を管理するという特殊性より、原子力の分野においては信頼性確認制度が必要と考える。その際、秘密保全のための法制化とは別法が適当。
- ・設計段階からの核セキュリティに対する配慮については、事業者を含むオールジャパンの体制にて検討を進め、設計段階の早い段階から核セキュリティが考慮されるよう、規制への取り入れを含め、検討すべき。
- ・発電所敷地外における防護の強化として、事業者自身が現行法令に適合して対応強化できる方策を検討すべき。

以 上

原子力委員会 原子力防護専門部会

技術検討ワーキング・グループ（第6回）議事要旨

1. 日 時：平成23年12月26日（月） 10:00～12:00

2. 場 所：中央合同庁舎4号館2階 共用第3特別会議室

3. 出席者：

委員：内藤座長、青山委員、飯田委員、板橋委員、岩橋委員、
交告委員、櫻井委員

原子力委員：近藤委員長、鈴木委員長代理、秋庭委員、大庭委員

事務局：吉野企画官他

4. 議題

- (1) IAEA 勧告文書 放射性物質及び関連施設に関する核セキュリティ
勧告の検討
- (2) IAEA 勧告文書 規制上の管理を外れた核物質及びその他の放射性物
質に関する核セキュリティ勧告の検討
- (3) IAEA 勧告文書 INF CIR C/225/Rev. 5の検討

5. 議事概要

- (1)「IAEA 勧告文書 放射性物質及び関連施設に関する核セキュリティ勧告」
について、説明、審議が行われた。主な意見の概要は以下のとおり。

- ・良心的な放射線源取扱い事業者であれば、放射線源登録制度により、
管理が可能であるが、当該制度は悪意を持って放射線源を所持しよう
とする者に対して管理できない部分があるのではないか。

- (2)「IAEA 勧告文書 規制上の管理を外れた核物質及びその他の放射性物質
に関する核セキュリティ勧告」について、説明、審議が行われた。主な
意見の概要は以下のとおり。

- ・冷戦構造崩壊後、旧共産圏から核物質が拡散しており、国際社会とし
て日本を含めて核物質の拡散への対応を図らなければならない。

(3)「IAEA 勧告文書 INF CIR/225/Rev. 5」の各論について、説明、審議が行われた。主な意見の概要は以下のとおり。

- ・輸送についての核セキュリティにおいては、取りまとめ官庁に先導的な役割を与えても良いのではないか。

以 上

原子力委員会 原子力防護専門部会

技術検討ワーキング・グループ（第7回）議事要旨

1. 日 時：平成24年1月16日（月） 15：00～16：20

2. 場 所：中央合同庁舎4号館2階 共用第3特別会議室

3. 出席者：

委員：内藤座長、青山委員、飯田委員、板橋委員、岩橋委員、

交告委員、櫻井委員

原子力委員：近藤委員長、鈴木委員長代理、秋庭委員、大庭委員、尾本委員

事務局：吉野企画官他

4. 議題

（1）IAEA 勧告文書 核物質及び原子力施設の物理的防護に関する核セキュリティ勧告（INFCIRC/225/Rev. 5）の検討

5. 議事概要

（1）「IAEA 勧告文書 核物質及び原子力施設の物理的防護に関する核セキュリティ勧告（INFCIRC/225/Rev. 5）」の検討について、説明、審議が行われた。主な意見の概要は以下のとおり。

・ IAEA 勧告に対して、まさに政府、日本国として対応しなければいけないことに対して、明確に課題を指摘するべきではないか。

・ Nuclear Threat Initiative（核セキュリティに関するNGO）が発表した各国の核セキュリティ状況国別評価における我が国の評価において、正当な理由により我が国の評価が悪い項目は、課題有りと指摘すべきではないか。

以 上

原子力委員会 原子力防護専門部会

技術検討ワーキング・グループ（第8回）議事要旨

1. 日 時：平成24年1月24日（火） 13：30～15：30

2. 場 所：中央合同庁舎4号館2階 共用第3特別会議室

3. 出席者：

委員：内藤座長、青山委員、飯田委員、板橋委員、岩橋委員、

交告委員、櫻井委員

原子力委員：近藤委員長、鈴木委員長代理、秋庭委員、尾本委員

事務局：吉野企画官他

4. 議題

- （1）我が国の核セキュリティ対策の強化について
（技術検討ワーキング・グループとりまとめ案の検討）

5. 議事概要

- （1）とりまとめ案について、説明、審議が行われた。主な意見の概要は以下のとおり。

- ・原子力分野における信頼性確認制度については、秘密保全のための法制の進捗状況に拘わらず、本分野独自の観点から、導入する必要性があるのではないか。
- ・信頼性確認においては、許可事業者の協力会社における信頼性確認が重要となるのではないか。
- ・許可事業者が核セキュリティ対策することについては、それを行政として所要の法整備、環境整備等にてバックアップしなければならないのではないか。

以 上

原子力委員会 原子力防護専門部会

技術検討ワーキング・グループ（第9回）議事要旨

1. 日 時：平成24年2月3日（金） 10:00～12:15

2. 場 所：中央合同庁舎4号館2階 共用第3特別会議室

3. 出席者：

委員：内藤座長、青山委員、飯田委員、板橋委員、岩橋委員、交告委員、
櫻井委員

原子力委員：近藤委員長、鈴木委員長代理、秋庭委員、大庭委員

事務局：吉野企画官他

4. 議題

- (1) IAEA勧告文書 核物質及び原子力施設の物理的防護に関する核セキュリティ勧告(INFCIRC/225/Rev. 5)への対応について
- (2) 我が国の核セキュリティ対策の強化について（技術検討ワーキング・グループとりまとめ案の検討）

5. 議事概要

INFCIRC/225/Rev. 5 への対応及び我が国の核セキュリティ対策の強化について、説明、審議が行われた。主な意見の概要は以下のとおり。

- ・原子力分野における信頼性確認制度については、許可事業者の従業員だけでなく、協力会社従業員に対しても同様の信頼性確認を行うべきではないか。

- ・我が国の物理防護システムの検討にあたっては、トータルのシステムとして、脅威の評価に基づき、目的であるところの放射線影響に対する最小化の観点で物を考え、一連の措置を講ずるべきではないか。

- ・核セキュリティ文化については、IAEA勧告文書を踏まえた本報告書においても、国全体にとって必要であることを強調すべきではないか。

以 上